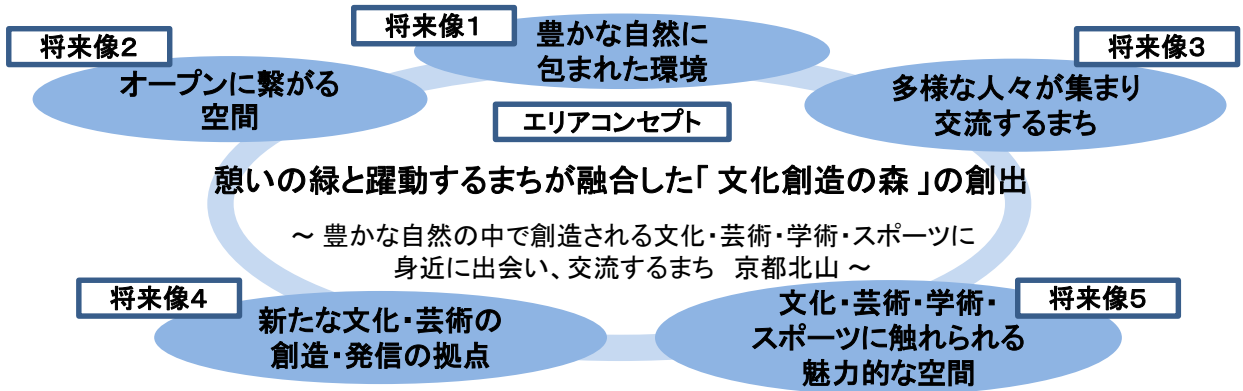


# 北山エリア整備基本計画 <概要>

## ■ 北山エリアの5つの将来像とエリアコンセプト



## ■ 将来像を実現するための方策

### 北山エリア整備の方向性

- 植物園の緑がエリア内に広がり、各施設が木々の緑の中に佇む空間の創出
- 施設の枠を越えて人が自由に往来できる空間づくり
- 日常的に人が集い交流できるまちの形成
- 新たに整備する建築物の外観に配慮し、調和の取れた景観形成

### 将来像を実現するための施設整備内容

#### ① 豊かな自然に包まれた環境

##### 植物園

- 教育・学習・研究機能の充実と植物標本庫、展示室等の整備

##### 植物園

- 機能劣化した観覧温室の大規模改修又は建替え

##### 植物園

- 園の魅力を高めるための弾力的で柔軟な企画運営への見直し

#### ④ 新たな文化・芸術の創造・発信の拠点

##### 旧資料館

- 劇場を中心に様々な規模の創作スペースや練習場、展示空間等が集積した舞台芸術・視覚芸術の創作・発表・鑑賞の拠点施設(シアター・コンプレックス)整備

##### 旧資料館

- 北山エリアのエントランスに相応しい「広場」機能整備(再掲)

#### ② オープンに繋がる空間

##### エリア全体

- 北山通から府立大学に繋がる南北軸、賀茂川から下鴨中通に繋がる東西軸など、エリア全体の回遊性を高める動線の整備

##### エリア全体

- 植物園を中心に周辺施設がスムーズに繋がり、ハード・ソフト両面での連携が可能となるような動線等の整備

##### 植物園

- 北山通と連続性を持たせ、人の流れをエリア内に引き込む商業空間・動線の整備

##### 植物園

- 半木の道と連続性を持たせ、賀茂川沿いの魅力を発揮して人の流れをエリア内に引き込む施設・動線の整備

#### ③ 多様な人々が集まり交流するまち

##### 旧資料館

- コンベンション、宿泊、飲食施設等、賑わい・交流機能整備

##### 旧資料館

- 北山エリアのエントランスに相応しい「広場」機能整備

##### 府大

- 地域等との連携・交流を推進する施設や、民間の創意工夫を活用した施設の併設検討

##### 植物園

- ビジターセンター、カフェ・レストラン等、複合的な機能を備えた正門整備

#### ⑤ 文化・芸術・学術・スポーツに触れられる魅力的な空間

##### 府大

- アリーナ機能を備えた共同体育館の整備

##### 府大

- 教育・研究ゾーン、地域連携ゾーン、スポーツゾーンのゾーニングの設定によるキャンパス再編

## ■ 想定される主要施設の整備概要

### ◆ 舞台芸術・視覚芸術拠点施設(シアター・コンプレックス) 想定諸室

機能	主な想定諸室
ホール機能	メインホール(舞台、客席(500~600席)、楽屋、調整室等)、楽屋口、搬入口、荷捌きスペース、倉庫等
展示機能	展示室(ギャラリー)、ホワイトキューブ等
創作機能	創作スペース・練習室、作業室等
交流機能	エントランス、ホワイエ、コミュニティスペース等
管理機能	施設管理者事務室、倉庫等

### ◆ アリーナ機能を備えた共同体育館 想定諸室

機能	主な想定諸室
メインアリーナ	バスケットコート×3面 観客席 10,000席程度 (可動席・移動席含む)
サブアリーナ	バスケットコート2面、武道場
その他	医務室、キッズルーム・授乳室、放送・音響・調光室、多目的室、トレーニング室、スポーツ・体力測定諸室、エントランスホール・ロビー、クラブボックス等
管理機能	事務室(施設管理室)、応接室(来賓室)、会議室等

### ◆ 植物園 正門周辺及び観覧温室再整備 想定諸室

機能	主な想定諸室
来園者サービス機能向上	インフォメーションセンター、ビジターセンター、正門エントランス、大屋根広場(雨天時対策)等
アミューズメント機能向上	ミュージアムショップ、ボタニカルショップ、カフェ・レストラン、ホール等
教育・研究機能向上	植物標本庫、常設展示室、図書コーナー、研究室、研修室、多目的室等
観覧温室建替/改修	観覧温室、機械室、バックヤード等
管理機能	事務室、会議室、倉庫等

◆ 賑わい・交流機能の内容(例:飲食、宿泊、コンベンション等)は、民間事業者の提案による

## ■ 整備・運営手法

整備にあたっては、従来の公共工事の手法だけでなく、官民連携手法(PPP)の活用も想定し、各施設の態様に合わせ最適な手法を検討する。

## ■ 整備スケジュール

